

伊藤雅風 展 急須バカ
二〇一六年十二月十日(土) ~ 十八日(日) 会期中無休



料金後納
ゆうメール

伊藤雅風展 急須バカ

二〇一六年十二月十日(土)～十八日(日) 会期中無休 営業時間 十一時～十八時
作家在廊日 十二月十日(土)・十一日(日)・十七日(土)・十八日(日)

本年最後を締めくくるとは、愛知県常滑市の急須作家・伊藤雅風さんです。若干28歳、まだまだ名前が知られていない新人ですが、完成度の高い急須に魅せられて個展をお願いしました。高校から陶芸を専攻し、大学時代に急須の名士・村越風月氏に師事、独立してから急須づくりにまっしぐらに突き進んでいます。

雅風とは年齢の割に古風な陶角ですが、決して代々続く焼き物の家系ではなく、あくまでご自身の意思でこの道を選びました。常滑と言えば日本六古窯にも数えられる古くからの窯業地。江戸末期から続く朱泥急須の産地として思い浮かべる方も多いでしょう。しかし常滑も今や急須作家も高齢化し、急須を中心に取り組む若い作り手は珍しくなっています。そんな中、伊藤さんは、原土を水簸して土作りから成形まで一貫した手作りの本格的な急須を作っています。

その根幹にあるのは、愚直に学ぶこと。原料を選び、技術を鍛錬するのはもちろん、歴史を学び、古い急須を集め、自ら茶を嗜み、茶の美味しさを引き出す急須の探究を惜しみません。日々お茶、日々急須づくり。とにかく急須バカと呼びたいほど、愛すべき一意専心の急須青年なのです。

その甲斐あって、作る急須の素晴らしいこと。決して流行を追うのではなく、古典に根差した形は、切れも姿も美しく、茶を知る人を唸らせる急須なのです。本展のために1年以上の時間をかけた多様な急須をはじめお茶回りの道具が並びます。清々しいほど真っ直ぐな急須の世界をどうぞ堪能ください。店主

東京・青山の「櫻井焙茶研究所」による美味しいお茶の淹れ方をお伝えするお茶会を開催します。

日時：12月11日(日) ① 11:30～ ② 12:30～ ③ 14:00～ ④ 15:00～ ⑤ 16:00～ (所要時間：30分)

各回：6名様 金額：お一人様2,500円

内容：お茶(櫻井焙茶研究所)とお菓子(菓子屋ここのつ)

予約方法：メール(utsuwanote@gmail.com)もしくは電話(049-298-8715)にてお申し込みください(先着順)

また会期中、櫻井焙茶研究所の茶葉も併せて販売いたします(数量限定)

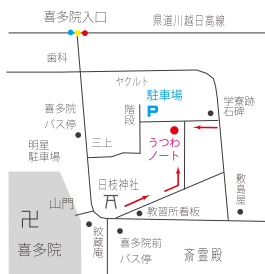
12月17日(土)・18日(日)は伊藤雅風さんが自らお茶をお淹れします。こちらは予約不要です。詳しくはブログ、フェイスブックをご覧ください。

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分

本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分

バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]

駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]

車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)



プロフィール
1988年 愛知県常滑市に生まれる
2007年 常滑高等学校セラミック科卒業
2009年 村越風月氏に師事
2011年 名古屋造形大学産業・工芸コース卒業
2012年 独立
2016年 現在、愛知県常滑市にて制作